

現地レポート／松本 悠（高エネルギー加速器研究科 素粒子原子核専攻）

派遣先：ドイツ

派遣先機関名：カールスルーエ大学 ITP (Institute for Theoretical Physics)

派遣期間：2007年9月11日～12月10日

2007年12月10日報告分

授業・研究の進捗状況

時期が時期だけに、どうしても博士論文に集中しなければならないため、それ程こっちでのプロジェクトを進めることはできませんでした。今までこっちに来てやった事について議論して、何か既にやられていて何がやられていないのか、を確認して今後論文になりそうなトピックスを話しました。また、研究の進展ではないですが、ここ ITP で今後力を入れた研究を教えてください、私自身の今後の研究方針にも役に立つ議論ができたと思います。

生活関連状況

<気候（11月後半、12月上旬）>

あまり日の差す日がなく曇りがちで暗いイメージでしたが、気温は氷点下にはなりません。雨がぱらつく日が多く、まとまった雨ではないので傘を差す人も多くはありませんが、時には強い風を伴った激しい雨が一瞬降ることもあり、とても不安定な天気でした。朝は8時にならないと明るくならず、夕方は5時で暗くなります。

<市街>

12月を待たずして、11月下旬から街はクリスマス色に染まっていきます。実際こっちは12月6日の聖ニコラウスの日、プレゼントを貰う日だそうで、12月24日から翌年の1月2日までは店は閉まってしまうそうです。



クリスマスの時期、街のメインの通りには屋台が並びクリスマスオーナメント、アクセサリ、キャンドル、木製の小物、ドライフルーツ、チョコバナナ、そしてグリューワインというフルーツとワインを合わせて温めてレモンを入れた飲み物等が売られ、暗くなったら皆そこに集まって賑やかにすごしているようです。また、ドイツの伝統的なクリスマスピラミッドという飾りをモチーフにした出店もありました。

<食事>

総じてドイツはやはりポテトが主食だと感じました。必ずポテトの料理が付いてきて、特にマクドナルド系のフライドポテトを多く目にしました。また支払い、チップは払わない場合が殆どでした。4、5店しか外の飲食店には行っていませんが、どうやら必ず払わなくてもいいようです。ですが、チップを払えば店員の人に喜んでもらえます。

その他報告すべき事項

ビザについて。一部のネット情報や観光ガイドブック、在フランクフルト日本領事館の問い合わせでは、「3ヶ月以内ならばビザは必要ない」という事でしたが、正しくは「90日以内」です。また、滞在許可を貰うのに50EURかかります。が、私の場合は91日間滞在中で、たった1日のために50EUR払うのは馬鹿馬鹿しいので、市役所の人を気にかけて1日だけの滞在許可に変えてもらい、10EURの出費で済みました。

2007年11月14日報告分

授業・研究の進捗状況

前回報告した、理解できていない結果をある程度納得できる形で説明しました。また、10月下旬から大学の授業が始まり、同様に研究室の毎週のセミナーも始まりました。今回のセミナーで私も発表の機会をいただいたので、今まで日本で研究して来たことを、11月5日、12日の2回に分けて発表しました。10月末にはドイツでの年次研究発表会のようなものがベルリンで開かれ殆どのスタッフや研究者はその会に出席に行ってしまう、また日本での指導教員が11月5日～14日までカールスルーエに滞在していたので、この期間は日本での仕事と博士論文の進行に集中しました。これからの1ヶ月は、こちらでのLHCに関連する仕事を進める傍ら、日本での研究の論文の完成・投稿と博士論文の執筆を進める予定です。

生活関連状況

<気候（10月後半）>

10月後半から次第に寒くなってきました。緯度的には北海道より北にあります、札幌くらいの気温でしょうか。晴れの日が少なく、昼間も寒いので最高気温はそれ程高くありません。11月に入ると更に寒さが厳しくなったように感じます。 $-3^{\circ}\text{C}\sim 0^{\circ}\text{C}$ というのが最近の平均的な気温のようです。

<市街>ドイツには市街にトラムという路面電車が走っています。街の中心には車は入れず、また写真の様に特に柵や踏み切りは無いので、人とトラム（と自転車）の共存状態になっています。人が多い場所は少々危険な気がしますが、トラムのスピードを落とし注意しながら走っているので、不思議と事故はそれ程起こらないようです。おばあさんもいそいそと渡っていましたが、時々轢かれるそうです。



<住居>

前回の報告のように、ID (International Department) のシェアルームに部屋を取っています。詳しくは分かりませんが、普通の大学生とは少々違う ID student としての学生も多く住んでおり、授業もここで行われているようです。写真は ID の中庭で、一番上の階の3階 (日本の4階) には家族で住めるような大きな部屋もあります。またレストランやバー、Music Room もあります。

<食事>

食事は自炊が基本で外食は高いと報告しましたが、月曜～木曜のみ19時までの営業ですが学生食堂 (MENZA) が開いていることが分かったので、最近はその場で夕食を取っています。残り物という感じですが、重さを量って値段を計算するので、普通に一皿に盛り付けて3～4EUR と昼食より安く済んでいます。

その他報告すべき事項

特に無し

2007年10月12日報告分

授業・研究の進捗状況

大学に行ったその日から机を割り与えてくれ、大学のPCのアカウントも作ってくれて仕事をする環境としては申し分ないです。PCのHDD使用量が100MBなのは少なすぎせいで一つの軽いプログラム程度しか動かせないのも、重いプログラムは自分のノートPCで走らせるようにしている。今のところ特に困っている事は無いので順調に進んでいると言えます。

カールスルーエ大学のITP受け入れ教官のZeppenfeld教授は忙しい方で、しばしば長期出張されるが、大学にいる時はできるだけ毎回ミーティングをするように心がけている。現在は、日本でLC実験でのHW anomalous couplingへの制限を計算した事の延長として、LHC実験の場合で同様の計算をしている。簡単な計算での結果、ある程度納得できる結果が出せているが、一つ理解し切れていない結果もある。今後はその結果の理解と、より実験解析に近い計算での再計算をする予定です。

生活関連状況

ユーロは高いので、金銭的に非常に苦しい。

<食事>

食費を抑えるために安い食品売り場を研究室の方に早々に教えてもらい、基本的に自炊で食事をすませています。また日本食を扱っている店も幾つかあり、味が舌に合わないという事はないと思います。自炊といっても殆どレトルト的なものばかりですが、月200EUR程度でやっていけそうです。昼食は学生食堂がありますが、それ程安くはなく5～8EURなのであまり行かないようにしています。とは言え、他の研究室の方たちとの交流の場の一つなので週に1、2回は行くようにしています。また夕食を外食した場合、安いところで5～10EUR、普通ならば10～20EUR、という感じで割高に感じました。結局食費は月250～300EURと言ったところです。

<衣類&気候 (9月後半)>

気候は関東よりは寒く、体感的には日本より1ヶ月進んでいるような感覚で、また1日の寒暖差が大きいように感じます。昼間は暖かく半袖の比人も見ますが、夜は一気に冷え長袖では不十分で何か羽織るものかトレーナーが必要です。地元の話だと、冷える時は一気に冷えるらしいので10月中には真冬の衣類を用意するべきかと思っています。

<住居>

ID (International Department) という大学の学生寮のような所に部屋を取ってもらい、そのシェアルームで生活しています。シェアルームだと1ヶ月275EURと一番安いのですが、プライベートな空間が全く無いというのは少々不便ではあります。3ヶ月間だけなので我慢できる範囲ではありますが。

<住民登録>

滞在期間3ヶ月丁度は住民登録が必要のようでしたので、到着後8日以内に住民登録を済ませました。住民登録の用紙はドイツ語しかなく、また市役所は午前中しか開いていなかったりと、ドイツ語の解読と無駄足のため登録までに3日を要しました。また、結局記入の方は完全には分からなかったので、登録局の窓口で口頭で質問してもらい(英語)、タイプしてもらいました。

その他報告すべき事項

特に無し